

ワーキンググループ(第2回)を行いました!

開催概要

日時: 令和5年11月8日(水曜日)

13時30分から16時30分

場所: 県立相模原公園 研修室

- 内容:
- アンケートの結果報告
 - 遊具体験会見学
 - 事例紹介(都立砧公園)
 - 意見交換

参加者:

- NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
- NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会
- 県立相模原支援学校PTA
- 県立相模原支援学校 県立相模原中央支援学校
- 県立相模原公園指定管理者

アンケートの結果報告

障がい当事者の保護者や支援者の皆様へ、遊具広場整備に求めていることなどを把握するために実施したアンケートの結果について報告しました。

ご協力いただいた施設

- 県立相模原支援学校
- 県立相模原中央支援学校
- 児童発達支援センター 青い鳥
- 福祉型障がい児入所施設 相模はやぶさ学園



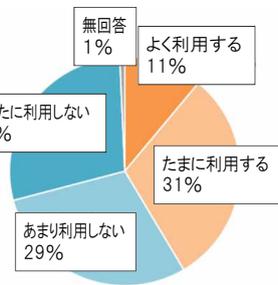
ワーキングの様子

アンケート結果概要(ご協力いただいた人数 315人)

〇子どもの遊具利用実態

〈公園の遊具利用頻度〉

- 全体では、約4割の子供が公園の遊具を利用
- 年齢別にみると9歳あたりから段々と遊具の利用が減っている



〈あまり公園の遊具を利用しない理由〉

- 障がいや原因で遊具を使用しにくい、使用できない
- 他の子とのトラブルが心配(順番待ちができない)
- 日陰や休憩場所が少ない
- 年齢制限(12歳まで)があり、遊具を使えない

〇今後の広場整備への要望

〈遊具〉

- 肢体不自由など様々な障がいの子供が遊べる遊具や介助しやすい遊具
- 大きな子供でも遊べる難易度の低い遊具
- 「滑る」「揺れる」「音を楽しむ」遊具

〈その他の施設〉

- 木陰や屋根付きの休憩スペース
- 障がいへの理解を促す遊び場のルールの掲示
- 多動性の子供が外に出ないような外周柵
- 大人でも使えるおむつ交換用のベッド

※このアンケートの結果は、県津久井治水センターホームページでもお知らせします。

【遊具体験会見学・意見交換】

11月1日～12日に相模原公園で行われた「だれもが一緒に遊べる遊具の体験会」を見学したほか、遊び場の整備を予定している場所などを確認し、気づいた点などについて、意見交換しました。

●主な意見

- ▶体験会では、遊び方が分かりやすい単体の遊具が複数設置されているのがよい。
- ▶体験会会場は、外周に柵があり、入口がはっきりしているため、遊び場という雰囲気が出てよい。
- ▶インクルーシブに配慮しつつも、ワクワク感のある遊び場になるとよい。
- ▶遊具を使用できる年齢を12歳以上も可能と表示できないか。
- ▶子供たちが公園に行きたいと思えるようなマスコット的な遊具やキャラクターがあるとよい。
- ▶一般的な遊具とインクルーシブな遊具のどちらもあって選んで遊べると、「誰もか遊べる」空間になる。
- ▶広場に小さな山やトンネルを造れば、年齢を問わず多様な遊び方ができる。
- ▶子供の見守りのため、広場の見通しは大切。また、広場の周りに柵があると安心。
- ▶風通しがよく、明るい遊び場にしてほしい。
- ▶白よけ、雨よけになる東屋などの休憩施設がほしい。
- ▶大人用のおむつ交換ベッドだけの個室があると、授乳など多様に使えるのでよい。

などのご意見をいただきました。



遊具体験会の様子



遊具体験会の見学状況



整備予定地や既存のトイレを再確認

【インクルーシブ遊具広場 事例紹介(都立 砧公園)】

東京都の砧公園の様子や、都庁の職員と砧公園の園長にヒアリングを行った結果を報告しました。



外周柵に囲まれた見通しの良いインクルーシブ遊具広場



外向き座りの回転遊具のため車いすから移乗しやすい



一般型とインクルーシブ型の両方の座面がある3連ブランコ

◆今後の予定

アンケートや遊具体験会などでいただいたご意見などを参考にしながら、「ともいき広場」の計画づくりを進めていきます。次回の会議では、「ともいき広場」の整備イメージについて検討する予定です。

◆問合せ先

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター

工務課公園班

電話 042-784-1111(代表)

令和6年2月